

3 市民意見

計画の策定に当たっては、さまざまな手法で市民意向を把握し、市役所内部の全庁的プロジェクトによるビジョン編に向けての市の素案の検討に活用するとともに、札幌新まちづくり計画市民会議における議論の参考としていただきました。

I 市民意向調査の概要

1 平成15年度第1回市民アンケート（一般市民アンケート）

調査期間：平成15年7月25日～8月15日

対象者：20歳以上の市民10,000人（住民基本台帳からの等間隔無作為抽出）

調査内容：計画の5つの基本目標を実現するために必要なことを選択するとともに、まちづくりに関する意見を自由記載

回収数：4,293通（回収率：42.9%） 自由記載意見件数：1,546件

2 「札幌新まちづくり計画」策定に関するアンケート（有識者アンケート）

調査期間：平成15年8月28日～9月12日

対象者：まちづくりの各分野¹にかかわりの深い本市附属機関（審議会・委員会）の委員等468人

調査内容：①計画の5つの基本目標を実現するために必要なことを選択するとともに、まちづくりに関する意見を自由記載

②まちづくりの各分野における「望ましいまちの姿」とそれを実現するために「市民」「NPO（非営利組織）や地域組織」「企業」「行政」等に期待される役割や活動を記載

回収数：238通（回収率：50.9%） 自由記載意見件数：323件

3 市民意見募集

平成15年8月20日から平成16年1月31日まで、まちづくりに関する市民意見を募集

●応募手段別の意見件数（まちづくりトーク参加応募時の24件を含む）

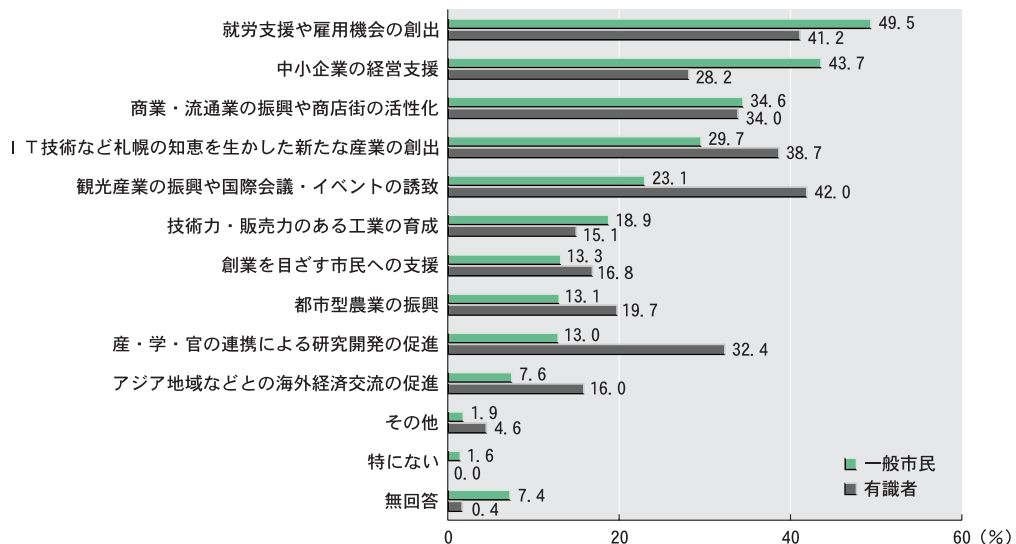
- ・ハガキ（意見募集パンフレット）：61件
- ・Eメール：47件
- ・FAX：7件
- ・文書・手紙：16件
- 合計：131件

II 調査結果

1 基本目標実現のために必要なこと（一般市民アンケートおよび有識者アンケートによる）

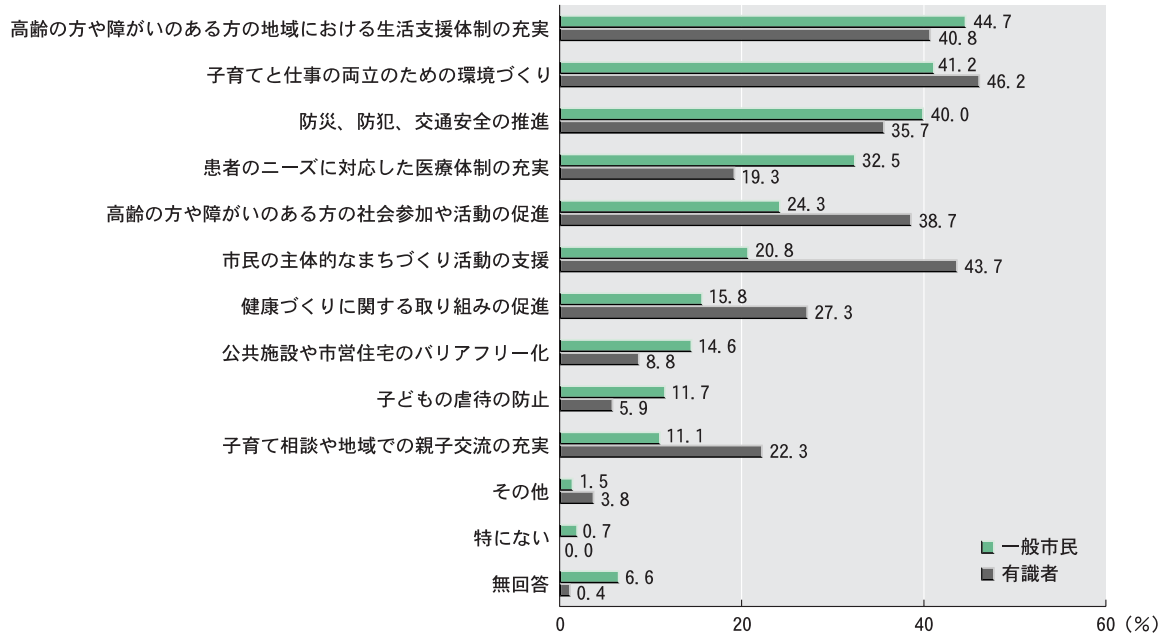
計画の5つの基本目標を実現するために必要なことを、それぞれ選択（3項目以内の複数回答）してもらったところ、以下のとおりでした。

●元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

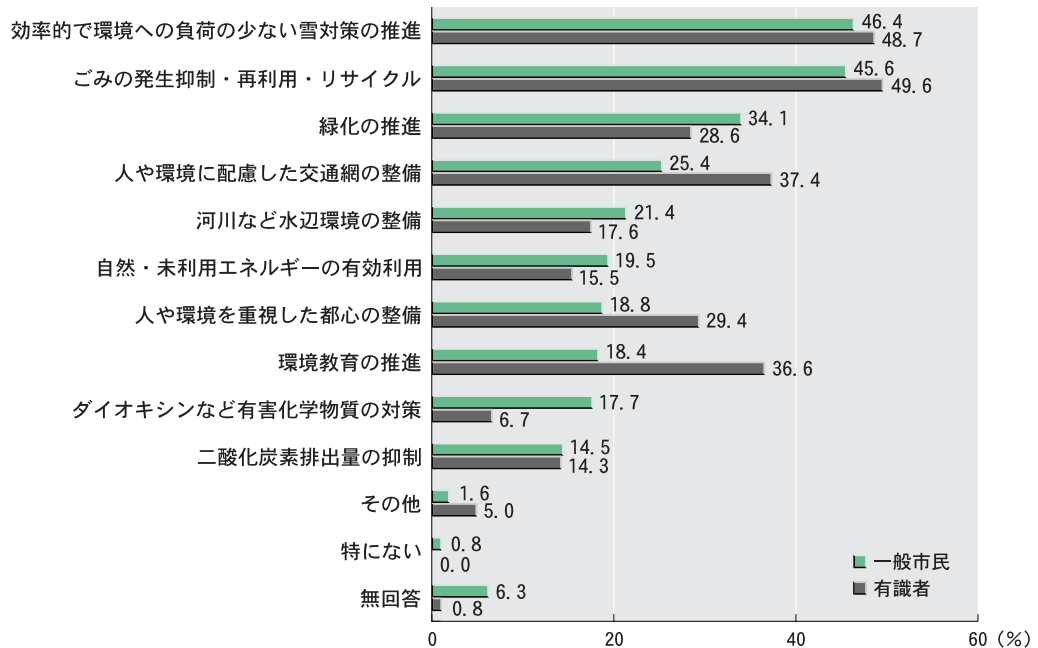


¹まちづくりの各分野 「経済・雇用」「地域づくり・健康・福祉」「環境・都市機能」「芸術・文化、スポーツ」「教育・人づくり」の5分野。

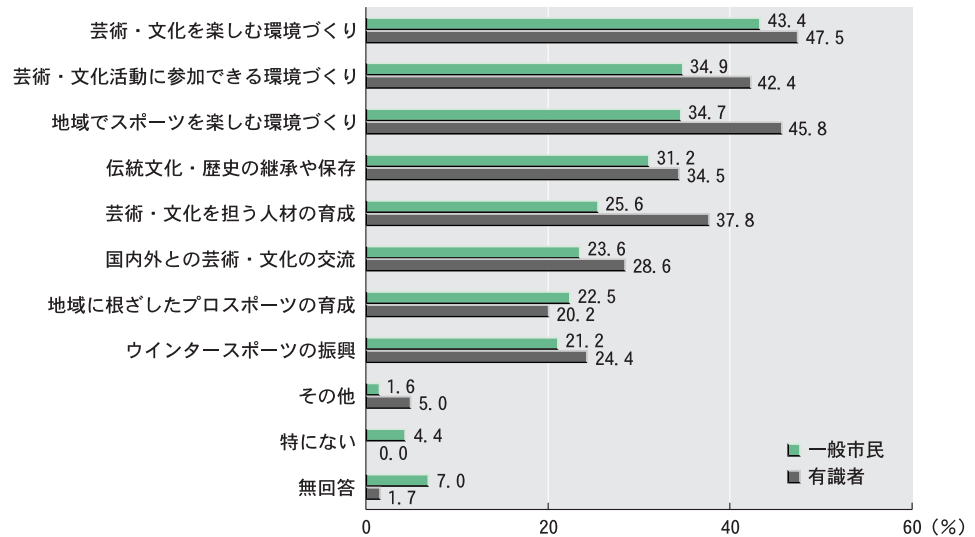
●健やかに暮らせる共生の街さっぽろ



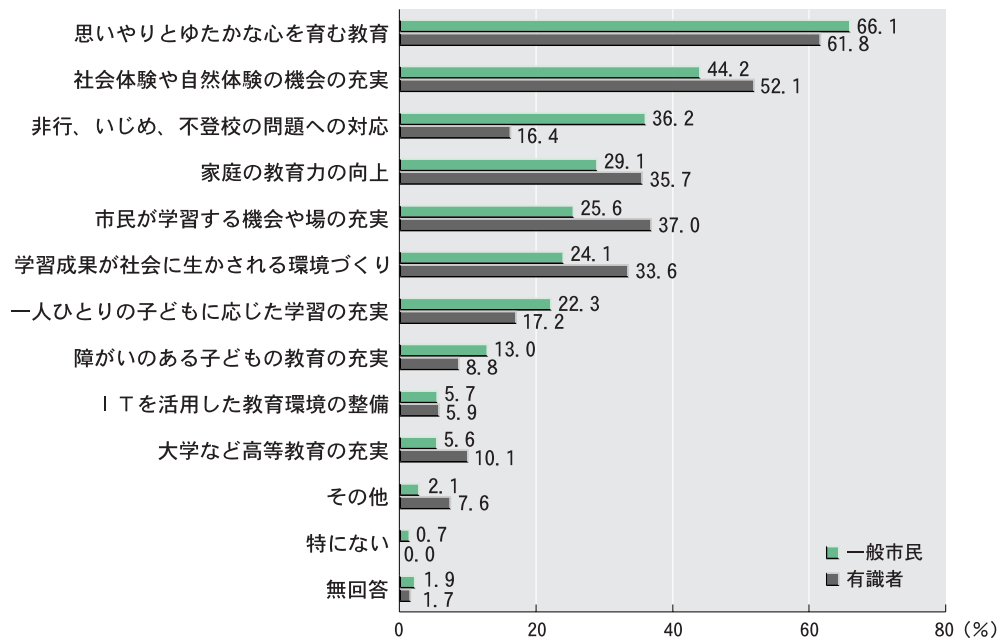
●世界に誇れる環境の街さっぽろ



●芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ



●ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ



2 望ましい街の姿・各主体に期待される役割や活動（有識者アンケートによる）

まちづくりの各分野における「望ましい街の姿」とそれを実現するために各主体に期待される役割や活動について、有識者の主な意見は以下のとおりでした。

分野：経済・雇用	
望ましい街の姿	
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域密着型のNPOのような、小さな社会を支えていく企業を多数起こしていく ● 札幌の特性を活かした産業（ITや観光など）が中心となって産業が活性化する ● 年齢、性別を問わず就業の場があり楽しく暮らせる街 ● 道外や海外の人達が「札幌に行ってみよう。旅行してみよう」と思ってくれるような魅力ある街 ● 訪れる人が魅力的なイベント、文化、芸術、スポーツや市民のホスピタリティに惹かれるような街 ● アジアの人々を始め、さまざまな国籍の知的ワーカーがダイナミックに事業を興し、四季を通じてにぎわう国際都市 	
市民に期待される役割や活動	NPOや地域組織に期待される役割や活動
<ul style="list-style-type: none"> ● チャレンジ精神を持った起業家への理解（失敗した起業家への支援） ● 事業を起こそうとする市民に対する情報提供 ● 厳しい経済環境に対応できる能力の向上 ● 温かいおもてなしの心 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活面のコーディネーター ● 行政・企業との連携による「札幌の魅力」のアピール ● 観光ボランティアの組織化や市民の活躍の機会の創出
企業に期待される役割や活動	行政に期待される役割や活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業体質を強化する努力 ● 競争力の強化と道内、全国、海外への展開 ● 産学官の連携による産業創出、雇用創出 ● 展示会、交流会、講演会等への出展・参加など積極的な異業種（外部）交流 ● 魅力的な観光商品の開発、観光都市を支える人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業環境づくり（的を絞った使いやすい助成制度など） ● 企業活動への情報提供や後方支援 ● 人材の発掘 ● 企業間の交流機会や活動報告機会の創出 ● リーディング産業のプライオリティづけと支援 ● アジアへのシティセールス

分野：地域づくり・健康・福祉	
望ましい街の姿	
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が地域づくりに生き生きと積極的に関わることができる ● 地域の一人ひとりの生き方が尊重され、一人ひとりが市民としての責任と義務を意識して日々生活する ● 豊かな情報と支援体制が整い住民が明るく健康で安心して暮らせるまち ● 高齢者や障がいのある人も含む多様な市民が人間としての尊厳を保て、それぞれの可能性を発揮して暮らせる街 ● 子育てと仕事が両立できる街 	
市民に期待される役割や活動	NPOや地域組織に期待される役割や活動
<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりへの意識を高めること ● 地域の事業、行事等に関心を持ち、積極的に参加、協力すること ● 地域のボランティア活動などへの積極的な参加 ● 障がいのある人への理解 ● 健康に関するセルフチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の共有化 ● 地域住民に対する役立つ情報の提供（医、教育、食、等） ● 多様なサービス提供・創出 ● 講習会、勉強会などを通じた障がいのある人への正しい知識の普及
企業に期待される役割や活動	行政に期待される役割や活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動への情報提供や研修会等への人材紹介 ● 男女共同参画の推進、働きやすい職場環境づくり ● より質の高い介護サービスの提供 ● 高齢者や障がいのある人が無理なく働ける就労機会の提供 ● 福利厚生、レクリエーション、定期健診の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● NPOや地域組織などとの連携 ● 市民活動に対する情報提供や効果的な支援 ● 福祉のネットワークづくり ● 道路などのバリアフリー化の推進

分野：環境・都市機能

望ましい街の姿

- 札幌の恵まれた自然を生かし、調和のとれた都市緑化を進め緑豊かな潤いと安らぎのある街
- 市民も行政も企業も、みんなが豊かで快適な環境づくりに高い意識を持ち、それぞれが日々環境改善に取り組んでいる街
- 交通渋滞や都心部の違法駐車が少ない、CO₂排出抑制に努めている機能的な街
- 快適な冬を過ごせるまち
- 周辺の交通網が整った便利で緑豊かなきれいな街

市民に期待される役割や活動

- みんなで決めたルールの遵守
- 環境活動等への積極的な参加
- 公共や環境を意識した生活の実践
- ゴミの分別、減量
- ガーデニングなど地域活動への参加・協力

NPOや地域組織に期待される役割や活動

- 市民への情報提供、啓蒙活動
- 市民への活動機会の提供
- 環境に関する施設の管理、イベントの運営等
- 身近な緑化、保全への協力

企業に期待される役割や活動

- 企業活動による環境負荷への責任の自覚
- 雪国に適した技術開発
- 環境に関する国際規格の導入
- 排気ガス抑制やゴミの減量
- 企業内外の緑化推進

行政に期待される役割や活動

- 都市環境の実態に関する情報開示や市民・各種団体への話し合いの場の提供
- NPOや市民への教育、支援
- 自然保護・保全を志向した都市基盤の整備
- 交通網の整備とそれを格安で利用できるソフト面の整備

分野：芸術・文化、スポーツ

望ましい街の姿

- 札幌の芸術情報を発信し、また世界からの芸術情報を集約して市民にそれらの情報を提供できる
- 芸術の創造や文化活動が行われ、日常的に高度な芸術文化に接することのできる、国際的交流が盛んな街
- スポーツ団体、地域組織、NPO、行政が一体になって、いつでも、だれでも、どこでも出来るスポーツ組織がつくられている
- 性別、年齢を超えて子どもからお年寄までが芸術を愛しスポーツを楽しみ、参加する機会・環境に恵まれている
- スポーツについて「札幌らしさ」を強調できる街

市民に期待される役割や活動

- 芸術・文化、スポーツの活動や催しに積極的に参加すること
- 芸術・文化、スポーツを楽しみ、他の人々との交流を深めること
- 家族ぐるみでスポーツを楽しむ機会を増やすこと
- 企画、運営スタッフとしてのボランティア活動

NPOや地域組織に期待される役割や活動

- 芸術、文化に関する組織づくり・運営
- 芸術鑑賞のための講習会の開催
- 多種多様な文化活動の交流促進

企業に期待される役割や活動

- 地域の文化活動への経済的・人的支援
- 企業の施設等の開放（運動施設等）
- 実業団チームの育成・強化
- 企業ボランティア

行政に期待される役割や活動

- 施設の充実、開放、利用料の低額化
- 世界の芸術情報の集約や札幌の芸術情報を発信する機能の整備
- 各種企画への側面支援
- 若手芸術家の活動の支援

分野：教育・人づくり

望ましい街の姿

- 子ども達一人一人が、自分の未来について夢や希望を抱き、その実現に向かって意欲を持って主体的に学ぶことができる
- 青少年が、自分の夢や希望を笑顔で語ることができ、それぞれが個性を生かしながら、その実現のために努力し、その努力が報われる社会
- 義務教育において、学校と家庭との連携だけでなく、地域社会が深くかわることが、ごく自然な姿として実感できる
- 市民がいつでも学ぶことができる学習機会が提供され、学んだ財産（人材）が札幌の街づくりに活かされる
- 社会奉仕活動に誰もが進んで取り組み家庭生活、学校生活、社会生活が明るく楽しい街

市民に期待される役割や活動

- 子どもへの正しい社会規範の指導
- 子供たちの自己実現への支援
- 家庭や地域の教育力向上への努力
- 生涯教育への取り組み
- 学習成果をまちづくり活動、ボランティア活動等に活かす

NPOや地域組織に期待される役割や活動

- インターンシップ、ボランティア活動など機会の提供
- 心の居場所づくりのためのカウンセリング
- 学校教育への参入（地域の指導者が学校へ参画）
- 家庭や地域の教育力を高める活動
- 学習機会の創出、情報発信・プログラムの立案

企業に期待される役割や活動

- 子どもへの社会体験の機会の拡充
- インターンシップの推進
- 地域活動への社員の参加協力

行政に期待される役割や活動

- 青少年の健全育成への取り組み
- 子どもの社会体験・奉仕活動の環境づくり
- 学校教育と社会教育の連携
- 市民への生涯教育の機会や場の提供の拡充

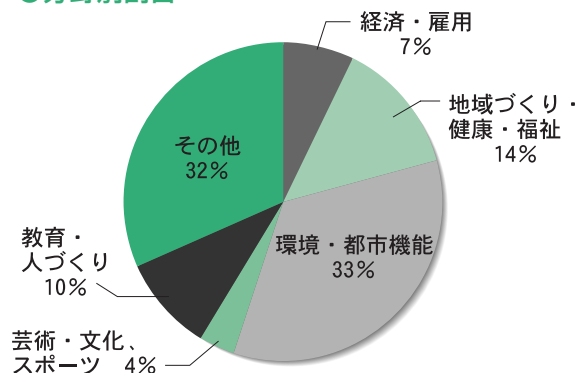
3 まちづくりに関する意見（一般市民アンケート、有識者アンケートおよび市民意見募集による）

一般市民、有識者からのまちづくりに関する意見（自由記載）を分野別にまとめたところ、以下のとおりでした。主な意見とそれに対応する計画の施策部分を次ページ以降に示します。

分野	項目	件数
経済・雇用 147	経済・雇用対策	83
	産業育成	21
	観光・集客交流	43
地域づくり・健康・福祉 272	高齢の方、障がいのある方への支援	107
	子育て支援	54
	福祉・健康・介護・年金	45
	地域づくり	66
環境・都市機能 681	ごみ対策	96
	環境負荷低減	24
	緑や自然環境	91
	雪対策	132
	公共交通機関	95
	自動車交通	43
	自転車対策	41
	都市景観	21
	道路や公園などの基盤整備	69
	効果的なまちづくり	32
公共事業の見直し	37	
芸術・文化、スポーツ 70	芸術・文化、スポーツ	70
教育・人づくり 195	豊かな人間性	111
	教育環境	67
	生涯教育	17

分野	項目	件数
その他 635	交通安全	48
	防犯対策	75
	街の風紀	20
	防災	3
	市民の市政参加	97
	行政の改革	97
	市民サービスの向上	22
	情報公開・情報提供	22
合計	その他	251
合計		2,000

●分野別割合



基本目標1：元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

重点戦略課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	本気で経済の再生を目指すならば人材の育成が一番大切。	経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保と育成や、企業経営者の自己啓発情報といったタイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供などを行う。
	中小零細企業や独立開業者等への経済的支援などの拡充。	長期短期の資金需要に対し、リスク負担を十分に考慮しつつ、柔軟な制度設計となるよう資金面での支援の充実を図る。また、起業を目指す市民を対象としたセミナー、事業計画立案についての相談業務などを行う。
安心して働ける環境づくり	中高年の人たちが働く場所を多くしてほしい。	再就職を目指す女性、中高年、若年、障がいのある人や母子家庭などの方々が就労するための支援や、労働、職場環境に関する相談に対する支援を進める。
	若い人たちの雇用問題を考えて。	
	安心して働けるよう、会社、企業にも教育してほしい。	
	雇用対策とコミュニティビジネスのあり方などを検討すべき。	コミュニティビジネスなどの地域密着型事業の振興を通じて、多様な雇用機会の創出を図る。
協働による観光振興とコンベンション事業の推進	観光案内ボランティアは良い。街のことに関心が増えるし、アイデアやパワーもさらに生まれる。	さまざまな機会をとらえ、まちぐるみで観光案内機能や外国語標記の充実、市民、企業へのPRや研修の実施など、ホスピタリティの向上への取り組みを推進する。
	インフォメーションセンターの充実など観光客に優しいまちづくりを。	
	国際観光に努め外国人観光客の誘致に一層の努力を。併せてコンベンションの誘致をすべき。	
さっぽろの知恵を活かした特色ある産業の振興	大学や研究機関の充実や研究助成。トップクラスの研究機関を誘致してリサーチパークをつくる。	大学などの地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術、ノウハウなどの製品化能力を連携・融合させ、技術力の向上や新産業の創造に結びつけることを目指す。
	新たな産業の創出や技術力、販売力のある工業の育成など、生産性活力のあるまちづくりが必要。	これまで札幌で培ってきた技術、知恵などの産業資源を有効活用し、情報関連産業と他の産業分野との連携促進などを通じて、新しい産業の創出を図り、既存産業分野でも高度化を図る。
	独自のキャラクターを出せる農業、工業などを発展させ、ヨーロッパのような自分の街に誇りを持てるまちづくりを。	札幌の都市イメージなどの優位性を活用し、さまざまな製品や産業分野を横断する札幌独自の魅力づくりを進め、「さっぽろブランド」として国内外に発信する。
アジアを中心とした産業ネットワークの拡大	中国瀋陽市との交流を深める。毎年100名程度の交流団を送り、迎える。	高い経済成長が見込まれる中国については、企業視察のニーズの高まりに対応し、旅行業界や札幌の情報関連産業や食品製造業などと連携し、テクニカルツアーの誘致活動を展開する。

基本目標2：健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

重点戦略課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
魅力あふれる地域づくりの推進	町内会の輪を広め、若い人たちが多く参加できる場をつくり、交流を深める。	地域住民がふれあい、交流を深めたり、地域のまちづくりを担う団体が情報の共有・交流やネットワークの形成を進めるための拠点づくりの取り組みについて、出張所・連絡所のまちづくりセンター化や公共的施設等のより効果的な活用などを通じて支援する。
	地域のつながりを深めるため、住民が集える場所やイベントを増やす。	
	転入する人が多い街なので、地域ごとの特徴がもっと顕著になれば、安住の地の選択がしやすいと思う。	それぞれの区や地域が持つ自然、文化、歴史などの資源を活用して、そこに住む人々が愛着を持ち、安心して暮らせる魅力的で活力あふれるまちづくりを推進する。
少子化対策の推進	子育てサロンのような場の充実。	町内会などの住民組織、NPO、ボランティア団体などと協働して子育て家庭が身近な地域で気軽に交流したり、情報を交換できる場を拡充する。
	女性も働き続けることができるようにするための保育園の増設。	保育所の定員の拡充や、幼稚園の預かり保育の促進に向けた検討を行うなど、保育所待機児童の解消に努める。
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	高齢者や障がいのある人への手助けを、誰もが当たり前に行えるような意識の向上を促進することが必要。	高齢者や障がいのある人に対する市民理解を促進し、心のバリアフリーが広がるよう努める。
	高齢者や障がいのある人が安心して外出や社会参加のできるような交通機関などの環境整備。	
	地下鉄全駅にエレベーターを設置してほしい。	
	地域にある施設のバリアフリー化が遅れており不自由なことが多い。	
	元気な高齢者が楽しくボランティア活動のできる場をつくってほしい。	
地域での健康づくりの推進	健康は個人に起因するのが当たり前だが、地域ぐるみ、町ぐるみでの取り組みも必要。	文化・スポーツ・ボランティア活動などさまざまな活動への参加促進、就労支援など、高齢者や障がいのある人の社会参加の機会の拡充に努める。
		地域の健康づくりを推進する担い手となる人材の育成、町内会などの住民組織への支援や市民グループの育成などを通じて、主体的かつ継続的な健康づくり活動を促進する。

基本目標3：世界に誇れる環境の街さっぽろ

重点戦略課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
水とみどりの うるおいと安 らぎのある街 の実現	宅地化も大切ですが、まとまった緑地は、なるべく手をつけなくてほしい。	まちから見える季節感ある山並みや市街地に点在する緑地について、緑地保全地区をはじめとした多様な制度を活用して保全する。
	みどりの多いまちづくりという意味で郊外の樹木にもっと力を入れてほしい。	都心部や特にみどりの少ない地区、環状グリーンベルトを形成する地区などで、公園緑地や道路、河川等の緑化を重点的に進める。
地球環境問題 への対応と循 環型社会の構 築	太陽エネルギー、水、風など自然エネルギー利用の普及を促進させる。	太陽光発電等の自然エネルギーをはじめとした、未利用エネルギーの有効利用、新しいエネルギーシステムの導入に向けた取り組みを進める。
	ゴミの減量化に真剣に取り組む。生ごみはコンポストなどによってかなりの量を減らせると考える。	家庭内生ごみの減量化をはじめ、市民・事業者との協働による多様なリサイクルルートを確保する。
北国らしいゆ たかな暮らし の実現	冬の車道および歩道の凍結でケガや事故が起きないように考えてほしい。	都市の生活を支える主要な道路の除排雪を計画的に行い渋滞緩和を図るとともに、歩行者の多い公共施設周辺の歩道や通学路などの歩行環境の改善を図る。
	雪対策の面で産・学・官が一体となって、より一層効率的な対策を続ける必要がある。	雪対策を進めるに当たっては、生活に身近な道路などは、パートナーシップ排雪や市民・企業の雪対策活動への支援を充実する。
	道路の下に路上の雪を入れ、その雪を夏に冷房として使う。	雪の冷熱エネルギーの活用についての実験など、省エネルギーに配慮し、雪を貴重な資源として見直す取り組みを進める。
歩いて暮らせ る快適で美し い街の創造	地下鉄、市電、バス、ミニバスなど公共交通をさらに充実させる。	公共交通については、利用しやすい環境に配慮し、利便性の向上に向けた取り組みを進める。
	JR、地下鉄などのターミナルへのアクセスを充実させる。	バス路線の走行環境の改善を進めるほか、駅のバリアフリー化の推進や利用しやすい料金制度の検討など、交通事業者と連携した取り組みを進める。
	マイカー対策、都心の駐車場の取り締まり強化、乗り入れ規制など自動車対策を推進する。	都心の通過交通を低減させる適正な自動車利用による交通の円滑化、道路空間の再配分による円滑で安全な交通環境の具体化を、社会実験や市民との協働により進める。
	安心して走れる自転車道がほしい。	安心して自転車に乗れる環境の整備や自転車利用のルールの順守とマナーの向上に向けた取り組みを行う。
	自然ゆたかなイメージを都市環境全体を通して感じることでできる都市開発の推進。	歩いて楽しい歩行空間や親水空間を創出するとともに、都市機能の更新やまちなか居住を推進する民間による都市開発やまちづくり活動への支援などを進め、都心に魅力的なにぎわいを創出する。

基本目標4：芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

重点戦略課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
芸術・文化の薫る街の実現	キタラや教育文化会館などで質の高いコンサートや能などを学校単位で鑑賞できる機会をつくる。	これからの時代を担う子どもや若者が、多様な芸術・文化に親しめる環境を充実する。
	子どもたちが本物の芸術・文化、スポーツに接したり、参加できる機会が札幌には少ない。	
	国内外の一流アーティストや指導者プレイヤーが来訪し、市民との交流が日常的になるようなまちづくりをする。	国内外のアーティストと市民との交流を促進する。
	文化施設（ギャラリー、音楽室、図書館、アトリエなど）を充実させ、北海道に新しい文化を生み出す。	優れた芸術・文化からさまざまな文化活動まで、多様な芸術・文化に市民が親しめる環境を充実する。札幌の優れた芸術・文化を魅力的なまちづくりの要素として活用し、集客交流を促進する。
	年代に応じた芸術・文化を楽しめるイベントや交流の場を多くする。	市民が芸術・文化に関する活動を相互に連携して行えるよう、活動団体のネットワークづくりと情報発信を進め、併せて国内外との交流を促進する。
	歴史的遺産「古き良き時代の建物など」は、市が厳選して後世に残すべき。	長い歴史を経て守り伝えられてきた地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進する。
スポーツの魅力あふれる街の実現	子どもたちが本物の芸術・文化、スポーツに接したり、参加できる機会が札幌には少ない。【再掲】	市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツができるために、学校開放の充実など利用しやすいスポーツ環境を整えるとともに、スポーツの場を拡大する。
	分散型の施設ではなく、運動公園的にすべてのスポーツ施設を集約。	地域でのスポーツ活動の担い手である団体の連携・融合を進め、それぞれの活動拠点となっている区体育館や学校開放などの施設を一体的に活用し、一つの地域スポーツクラブとするなど、地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成するしくみを検討する。
	自然を保護する気持ちをもっと持つためにも、登山やトレッキング、冬のスポーツなどを進めてほしい。	札幌ならではの特性を活かして、自然と親しむスポーツ活動を推進するとともに、ウインタースポーツを重点スポーツとして位置づけ、調査・研究を進める。

基本目標5：ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

重点戦略課題	主な意見の要旨	対応する計画の施策部分
自立した市民に育てる教育の推進	社会的マナーや人に対する思いやりの心を、幼児のころから、教育まかせでなく、家庭でも教えることが大事。	学校教育では、教育ボランティア、外部指導者、生徒の心の悩みを解決できる人々など、家庭、地域の高齢者やさまざまな専門家との連携体制を一層充実するとともに、非行やいじめ、不登校に対する取り組みを家庭、地域などと共に協力して進める。
	市立高校で特色ある学校づくりがなされているが、生徒の多様な個性が活かされるカリキュラムになることを期待。	高校教育では、生徒の個性を尊重し多様な選択肢を提供するため、特色ある学校づくりを進める。
	義務教育の一環にボランティア体験などを取り入れて、人とかかわる大切さを学んでほしい。	子どもたちが社会の一員としての自覚と責任感を高めるため、地域活動への参加や高齢者を含めた世代間交流、ボランティア体験、野外活動などの取り組みを進める。
さっぽろを支え、発信する人づくり	一般市民がカルチャースクール的に、短期間でも学べる場がほしい。	地域やボランティア、NPOなどとの連携をさらに深め、子どもたちを含め市民の身近な場所での多様な学習機会を充実する。